

インフルエンザ定点(小児科定点を含む)

インフルエンザ: 12,397件(前月比2.4、前年比2.3)。昨年の12月から連続して増加しており、この時期としては例年より著しく多い値で推移しています。平成22年、23年度は1月をピークとして2月からは減少に転じましたが、本年度は例年の推移と違い、1月からさらに著しく増加しており、未だ注意が必要です。

小児科定点

(全体傾向) 16,264件(前月比1.6、前年比1.8)であり、インフルエンザ12,397件と感染性胃腸炎2,486件が大きく占めています。前月比、前年比ともに増加しており、インフルエンザ12,397件(前月比2.4、前年比2.3)の影響を大きく受けています。一方、先月まで連続して増加していた感染性胃腸炎は2,486件(前月比0.8、前年比1.3)と今月は減少に転じています。

(疾患別傾向)

1. RSウイルス感染症: 128件(前月比0.7、前年比0.8)と昨年の12月をピークとして連続して減少しています。今後は例年と同様の動きで、収束していくものと推測されます。人吉(11.0)、水俣(8.0)が特に多いようです。
2. 咽頭結膜熱: 76件(前月比1.3、前年比0.8)と前月より増加しています。前年比は0.8であり、例年並で推移しているようです。菊池(5.3)、有明(4.0)が多いようです。
3. A群溶連菌咽頭炎: 283件(前月比1.0、前年比1.0)。例年並みで推移しているようです。天草(11.0)、菊池(10.0)、熊本(8.5)が多いようです。
4. 感染性胃腸炎: 2,486件(前月比0.8、前年比1.3)でした。昨年10月から連続して増加していましたが、2月からは減少に転じました。昨年よりはやや多いようですが、今後は例年と同様に夏期に向けて減少していくものと推測されます。山鹿(141.5)が特に多いようです。
5. 水痘: 292件(前月比1.0、前年比0.7)でした。前月からは大きな変化はありません。昨年よりはやや少ない値で推移しています。菊池(18.8)が特に多いようです。
6. 手足口病: 7件(前月比1.0、前年比0.6)と例年と同様に少ない値で推移しています。
7. 伝染性紅斑: 25件(前月比1.4、前年比0.3)と1月から増加しています。昨年よりは低い値で推移しています。
8. 突発性発しん: 125件(前月比0.8、前年比1.0)と大きな変化はありません。例年と同様に推移しているようです。
9. 百日咳: 1件(前月比0.5、前年比1.0)と少ない値で推移しています。
10. ヘルパンギーナ: 8件(前月比0.5、前年比0.3)と少ない値で、例年と同様に推移しているようです。
11. 流行性耳下腺炎: 203件(前月比0.9、前年比0.6)と前月比は大きな変化はありませんが、前年よりは低い値で推移しています。水俣(22.5)が特に多いようです。

眼科定点

1. 急性出血性結膜炎： 報告はありません。
2. 流行性角結膜炎： 報告数57件(前月比1.5、前年比1.2)と微増しています。地域別では熊本45件、菊池3件、有明8件の報告です。年齢別では40歳代の30%をピークに20～59歳および70歳以上に多発しています。

STD定点

1. 性器クラミジア感染症：報告数 42件(前月比 1.4、前年比 1.2)で、前月比、前年比ともに増加しています。男女別は、男性16件、女性26件で、女性に多く見られます。年齢別は、男性は20～44歳に見られ、女性は15～39歳に見られます。地域別は、熊本が28件と多く、次いで宇城9件、山鹿、御船各2件、八代1件でした。
2. 性器ヘルペスウイルス感染症：
報告数 20件(前月比 1.1、前年比 1.7)で、前月比、前年比ともに増加しています。男女別は、男性7件、女性13件で、女性に多く見られます。年齢別は、男性は20～70歳以上、女性は15～70歳以上と男女ともに幅広く見られます。地域別は、熊本が13件、八代5件、御船、宇城各1件でした。
3. 尖圭コンジローマ： 報告数 3件(前月比 0.8、前年比 0.6)で、前月比、前年比ともに減少しています。男女別は、女性のみで、年齢別は、15～29歳でした。地域別は、熊本が2件、人吉1件でした。
4. 淋菌感染症： 報告数 12件(前月比 0.8、前年比 1.3)で、前月比は減少し、前年比は増加しています。男女別は、男性が8件、女性4件で、男性に多く見られます。年齢別は、男性は20～49歳に、女性は15～29歳に見られます。地域別は、熊本が9件、山鹿、有明、宇城各1件でした。

基幹定点

(週報分)

1. 細菌性髄膜炎： 報告はありませんでした。
2. 無菌性髄膜炎： 報告は2件(前月比2.0、前年同月比1.0)でした。場所は熊本保健所2件でした。年齢は、1～4歳1件、45～49歳1件でした。
3. マイコプラズマ肺炎： 報告は13件(前月比0.6、前年同月比3.3)でした。場所は熊本保健所5件、阿蘇保健所2件、人吉保健所1件、有明保健所3件、天草保健所2件でした。年齢は、0歳1件、1～4歳2件、5～9歳3件、10～14歳4件、25～29歳1件、70歳以上2件でした。
4. クラミジア肺炎： 報告は1件(前月比 -, 前年同月比1.0)でした。場所は熊本保健所1件でした。年齢は、1～4歳が1件でした。

(月報分)

1. メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：
報告数 74件(前月比1.1、前年同月比1.0)でした。年齢は、52件(70%)は70歳以上でした。

2. ペニシリン耐性肺炎球菌感染症:

報告は6件(前月比1.0、前年同月比2.0)でした。場所は熊本保健所2件、八代保健所3件、人吉保健所1件でした。年齢は0歳が1件、45～49歳が1件、70歳以上が4件でした。

3. 薬剤耐性緑膿菌感染症:

報告は1件(前月比0.5、前年同月比-)でした。場所は熊本保健所1件でした。年齢は、70歳以上1件でした。

4. 薬剤耐性アシネトバクター感染症:

報告は2件(前月比-、前年同月比-)でした。場所は熊本保健所2件でした。年齢は70歳以上2件でした。

届け出対象感染症

1類感染症:	報告はありませんでした。
2類感染症:	結核: 36件
3類感染症:	報告はありませんでした。
4類感染症:	レジオネラ症: 1件
5類感染症(全数把握):	アメーバ赤痢: 4件
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症: 1件
	梅毒: 1件
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症: 1件